

令和 2 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	70
--------	----

担当課	魅力づくり推進課		担当課長	川上 克彦		
事業担当者	砂川 政輝		一次評価者	安部 憲一郎		
事業区分	継続事業		事務事業評価の履歴	有		
事務事業名	コミュニティバス運行事業					
予算科目	2 款 1 項 12 目					
予算事業名	交通アクセス対策費					
総合計画での位置づけ (施策名)	便利な都市環境をつくる					
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	全住民					
事業の目的	町民の買い物や通院といった、普段の生活における交通手段の確保及び交通弱者の利便性の向上を図るため、町内における路線バス等との地域公共交通ネットワークの確立と交通空白地の解消。					
実施期間	開始年度	平成	24	年度から		
	終了年度	令和		年度まで		
事業の内容	デザイン性に富んだポンチョタイプのバス2台(定員26名、32名)、トリアスから篠栗駅をつなぐ幹線系統とミニバンタイプのバス2台(定員12名)で町内を巡回する便を有料(100円)にて運行。全87便運行。運行形態については、地域公共交通活性化協議会を開催し、改善等を実施。					
目的達成の指標 (成果指標)	コミュニティバスの利用者数					
	区分年度	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4年度
	目標	人	98,279	120,000	120,000	120,000
	実績	人	145,035	116,598		
指標設定の考え方	利用者が増えることは、利用者のニーズに沿った公共交通の提供の指標となり、住民の生活の利便性向上につながると考えるため。					
計画時の懸案事項	コロナ禍によって、移動に変化が起きている中で、移動の制限と、必要な移動の提供に対応する必要がある。利用者の安心と利便性の向上のために、利用状況の分析や、ニーズ調査を実施し、持続可能な公共交通の形を模索する必要がある。					
計画時の懸案事項への対応	安心して利用してもらえるように、車内の換気や、消毒を徹底し、感染対策を万全にする。また、利用者からの要望や意見を記録し、協議会等に対応について協議する。併せて、利用者アンケートや、利用状況を分析し、乗り継ぎ、町外へのアクセス等、最適な運行を目指しダイヤ改正を行う。また、持続可能な公共交通実現のため、バス停ネーミングライツ等の広告収入による増収にも取り組む必要がある。					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 7,741 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	
事務量	① 人工数	0.13	0.13	0.13	0.13
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,025	994	933	933
事業費	直接事業費	78,019	70,243	69,963	69,963
	人件費	1,025	994	933	933
	合 計	79,044	71,237	70,896	70,896
財源内訳	国庫支出金	4,255			
	県支出金				
	地方債				
	その他	360			
	一般財源	74,429	71,237	70,896	70,896
	合 計	79,044	71,237	70,896	70,896

事業費計画

(千円)

区分/年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目 標	78,019	70,243	69,963	69,963	69,963
実 績	73,030	69,148			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
運行事業者(新宮タクシー)との協議	回	3	3	3	5
		6	10		
利用者のニーズ把握調査	回	1	1	1	1
		2	1		
観光イベント時にアクセス手段として印刷物に掲載	回	3	3	2	2
		2	0		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 7,622 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	1 年度決算	2 年度予算	2 年度決算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.15	0.13	0.13	0.13
	② 人件費単価	7,891	7,652	7,652	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	
	人件費(①×②-③)	1,183	994	994	933
事業費	直接事業費	73,030	70,243	69,148	69,963
	人件費	1,183	994	994	933
	合 計	74,213	71,237	70,142	70,896
財源内訳	国庫支出金	7,553	7,019	0	0
	県支出金	9,736	9,073	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	610	650	0	0
	一般財源	56,314	54,495	70,142	70,896
	合 計	74,213	71,237	70,142	70,896

実施備忘録

--

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	砂川 政輝
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ← 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	4	B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	2	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し		<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止		<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E完了		<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

平成31年4月から、一部運行見直しとなった西鉄バス路線の運行をイコバスによる運行を開始して2年目である。鉄道のない当町において、他の路線バス(JR九州バス、西鉄バス)やJR篠栗線と接続していることや、交通空白地等の移動手段に困っている地域での運行も担っていることや、利用者への満足度調査においても、90%以上の満足度を越えていることから必要性、有効性は共に高いと言える。イコバスは、久山町内の移動において重要な役割を担っており、事業の更なる重点化が望まれる。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

今年度は、感染症対策として新たに、キャッシュレス決済の導入を実施した。当初の予想よりも利用者が多く、一定のニーズに応えることができた。コロナ禍において、利用者は前年度よりも、約14%減少したが、周辺のバス事業者に比べると減少幅は少なかった。これは、町民の移動手段として、イコバスが選ばれたという結果である。苦情・要望についても、昨年度よりも減っており、一定の成果は出ていると考えている。今後も、利用状況及び利用者へのヒアリング等を実施し、利便性向上について、検証していく必要がある。併せて、まだ利用したことのない方やイコバスのことを知らない方などに利用モデルなどを示すなどして利用促進の働きかけを行う。また、来年度は久山町公共交通計画策定の年でもあり、未来を見据えた、新たな公共交通の形を模索していく。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	安部 憲一郎
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？ <input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。 <input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。 <input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5 4 5 5	A
2. 町が実施する必要があるか？ <input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。 <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。 <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4 4 3	B
3. 実施内容は適切か？		
①有効性 <input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。 <input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。 <input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5 4 4	A
②効率性 <input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。 <input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。 <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4 5 4	A
③公平性・透明性 <input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) <input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。 <input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3 4 4	B

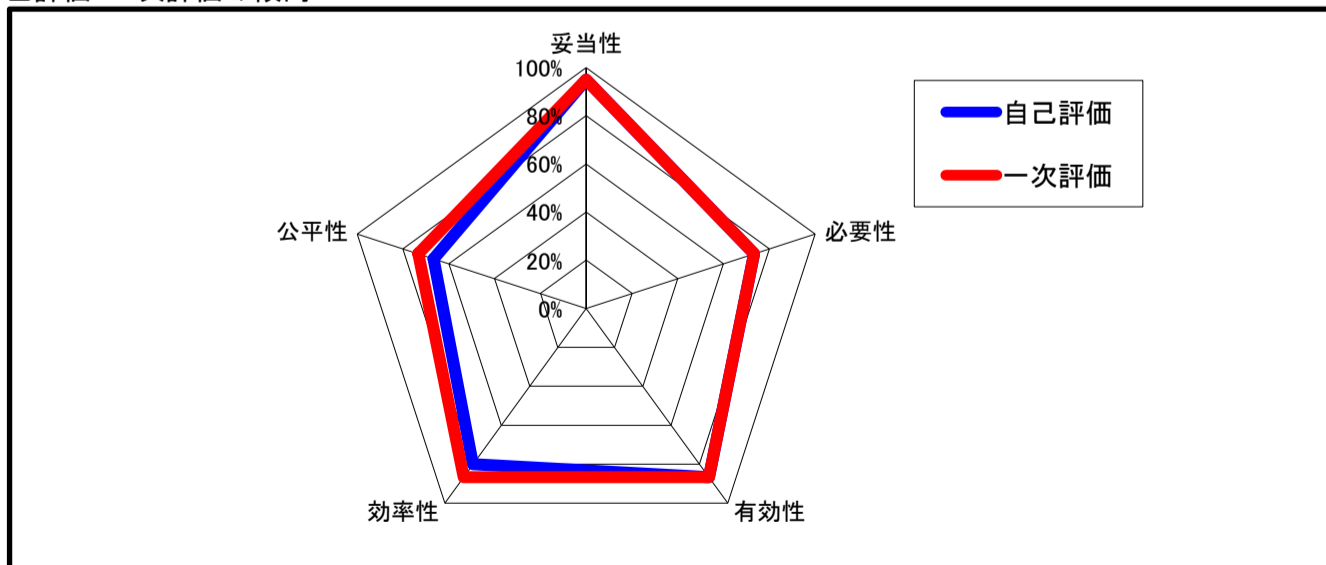
今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input checked="" type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	
<input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)	
<input type="checkbox"/> C見直し	
<input type="checkbox"/> D廃止	
<input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

平成31年4月に新たな交通体系を実施し初年度に一定の効果を見ることができたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、全体の利用は前年度と比較して8割程度まで低下した。
しかし、下半期からは新型コロナウイルス感染状況の落ち着きに伴い、利用者が次第に増えてきており、高校生の利用状況については前年度を上回った。
令和元年度の運行における反省点を令和2年度ダイヤに反映させた結果が現れていると考える。
今後も引き続き利用者のアンケート調査の結果等を踏まえ、利用者のニーズにあったダイヤの見直しを実施するとともに、交通が不便な地域等の公共交通の充実を図ることを検討する。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

川上 克彦

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

幹線系統の運行がイコバスになって2年経過したが、イコバスの運営については順調に推移していると思われる。高齢者の免許返納による交通手段の確保など新たな課題に対応できるよう、令和3年度策定する地域公共交通計画で検討していきたい。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会
で評価する。

月 日
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり
直し、
月 日
までに提出すること。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

<p>今後の方向性</p> <p style="color: red;">A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

評価		<p>外部評価委員の意見</p>
----	--	------------------

経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

<p>今後の方向性</p> <p style="color: red;">A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの</p> <p><input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)</p> <p><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)</p> <p><input type="checkbox"/> C見直し</p> <p><input type="checkbox"/> D廃止</p> <p><input type="checkbox"/> E完了</p>	<p>C見直しの具体的内容</p> <p><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</p> <p><input type="checkbox"/> 事業縮小</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
--	---

評価		<p>経営者会議の結果</p>
----	--	-----------------

令和 4 年度予算要求事項(今後の取り組み)	
------------------------	--